

流通科学大学 体育会 サッカ一部

HANDBOOK

2020



流通科学大学



2020年度 2部Aリーグ参加チーム

大阪産業大学
大阪経済大学
関西福祉大学
大阪教育大学

流通科学大学

京都先端科学大学
関西国際大学
京都橘大学
龍谷大学
追手門学院大学
芦屋大学



2019年度結果



前期

7勝3敗1分 3位

得点31 失点19

後期

3勝7敗1分 11位

得点18 失点21

10勝10敗2分

総合順位 5位

基本理念



ライフスキル教育

心を豊かに、自分らしく「生きる力」を身につけ、さらには社会で貢献できるような人になってほしいと願っています。

近年、世界での様々な問題、日本ではあらゆるところで災害がおこっています。このような社会では、複雑な問題を解決していく力が求められます。ひと昔のようにハイ／イエの答えだけではこの問題を克服できません。

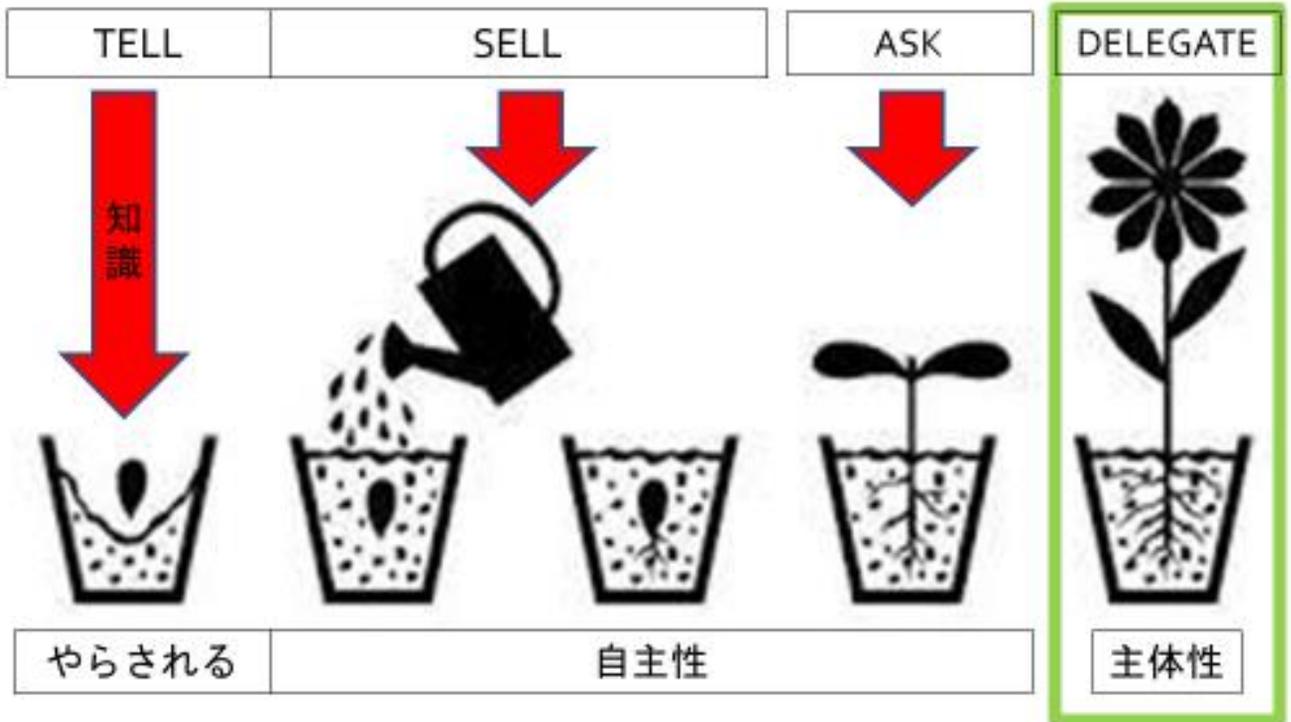
そこで、生きる力に最も近いとされるライフスキルをスポーツを通して獲得し、社会を生き抜く力を身につけてほしいと願っています。それには、礼儀作法や挨拶など基礎となるスキルの部分を広げ、その上に自主性、主体性を身につけ、自立できるよう学生中心で取り組んでいけるよう努めます。

(ありがとうは天に届く唯一の言葉)

基本理念



自主性から主体性へ 求められるコーチング



ライフスキルとは①



定義

「日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力 (WHO, 1997) 」

本学では、社会で必要なスキルを身につけるべく活動を行っております。月1回程度の全体MTで知識の獲得だけでなく、活動を通して思想にしていくこと、日常生活に般化することをめざします。

全体MT実施例

- ・フェアプレイの重要性
- ・スポーツパーソンシップを考える
- ・感謝する心を育てる
- ・目標設定スキル 等

6. ライフスキルとは②



一流の指導者たちの実践的な経験をもとに見出した
アスリートに求められるライフスキル
(島本ほか, 2013)

目標設定

最善の努力

考える力

責任ある行動

ストレス
マネジメント

礼儀・マナー

コミュニケーション

体調管理

謙虚な心

感謝する心

アスリートに求められるライフスキルは全部で10因子です。ライフスキルと競技能力は比例しています。これらの因子をバランスよく高め、競技能力の向上に努めます。

ライフスキルは低いと絶対に勝てないことはありませんが、長い目で見た場合「**必ず負ける**」とされています。

活動方針



“厳しく・激しく・楽しく”

2020スローガン

日々小さい貢献 日々大きな感謝
『懸情流水 受恩刻石』

本学サッカー一部では、しっかりと勝利の追求をします。勝利のみではなく、勝利の追求をすることで、努力を惜しまず、創意工夫することにつながります。全力で挑むプロセスこそが、心身を成長させてくれると考えているからです。学生スポーツは学生主導のもと運営がなされています。周りのサポートに「気づき」、感謝の気持ちで自らも積極的に関わっていくことこそが本来の学生スポーツの活動となります。そこには「やらされる」のではなく、積極的に関わるのが求められます。それには「主体性」が重んじられます。大学では過去の経歴に関係なく、自身を鍛錬する者のみが上達します。努力を惜しまず自分の可能性を広げていく姿勢は、先の人生において重要な指針となります。また、強くなりたい、勝ちたいという気持ちは、勝利するために何をしなければならないのか、自ら考え工夫するようになります。上手くなりたい＝強さ、タフさを求めなければなりません。強さ、タフさはこの先の人生においても必ず重宝されます。強さは粘り強さや我慢強さなど、競技を経験することで役立つことはたくさんあります。タフさにおいても同様に、厳しい社会を乗り越えていける糧となります。その上で、我々は活動方針に掲げているように、厳しく・激しくトレーニングを行い、組織で強い相手に打ち勝つ楽しさを求めていきます。

スポーツの3大要素



1. 遊戯

- ・「遊び」から合意や決まりごとが設けられ「ルール」ができ、遊びはルールによって組織化され「ゲーム」となる。そのひとつが「サッカー」である。したがって楽しくなければ面白くない。より楽しむためには徹底したルール遵守が求められる。

2. 競争

- ・試合の相手を敵対関係にあるものとしてとらえず、相互促進者としてとらえるべきである。競争の語源: competitio (共同の努力) からもあるように、フェアプレイに徹しなければなりません。相手をリスペクトし、レフリーをリスペクトすることは、自身の力を最大限に発揮します。

3. 肉体的鍛錬

- ・同意されたルールのもとで、どちらが優れているかを互いに試しあうための、公平な機会で最大限の勝利を追求するための努力が求められます。勝負にこだわらないとスポーツではありません。しかし、そのためには、勝利だけを求めるのではなく、勝利の追求をすることが必要です。何でも勝てばよいのではない。スポーツパーソンシップに則りプレイすることが求められます。

部員心得 I



『己に克ち 礼に復る』(論語)

…自分の欲望に打ちかって人間として守るべき
正しい道に従って行動すること。

◆集合時間

- ・余裕をもって行動すること。ギリギリに来ることのないように。
これは道具や水の準備もすべて終わってさらに余裕を持てる時間帯を指す。
(下積みをどれだけできるか)

◆服装・身なり

- ・全員チーム指定のウェアでトレーニングすること。
- ・学生らしい身なりで行動すること(茶髪・ピアス・ひげをのばすなどはしない)。

◆欠席・遅刻・早退

- ・遅刻・欠席の連絡の徹底
(社会で通用しない・言語道断)

◆学業

- ・4年間での卒業は最低目標である。前期・後期最低各16単位以上をとること。
半期で16単位未満の場合は次の半期間の活動停止とする。また、16単位以上でも各セメスターを下回っている場合は、上回るまで活動停止とする。学生生活において何を優先しなければならないのかをしっかりと考えること。そして、卒業後何をするのか、社会に出て自分がこれからどう生きていくのか将来のビジョンを自分で探していかなければならない。そのために周りのアドバイスや知識を活用し学問を吸収していくことが大切である。

◆その他

- ・サッカーだけやっていたら良いという安易な考えでは、当然学生は務まらない。学業でも常に上をめざして取り組むことが大切である。これもサッカー同様最善の努力を行うことにつながってくる。頑張りや評価は、何事にも努力しない人は見切りをつける。一生懸命全力を尽くさない者にチャンスは巡ってこない。

部員心得 II



◆ 役員構成

部の運営に下記の役員を置く

主将	1名
副主将	若干名
主務	若干名(学連・リスペクト等担当含む)
副主務	若干名
その他	各係りを担当する。(全員が関わる) 審判・分析・来客対応・総務・経理

◆ チームの約束事

茶髪・パーマ・髭・ピアス等身だしなみだけでなく、公序良俗に反する行為等。

SNS等への部やその他の誹謗中傷、秘密漏洩。

喫煙、その他規律を乱す行為。

幹部会議での決定事項を守らない事。

※著しく部の名誉を傷つけたり、部の規則や方針を何度も乱した場合は除名する。

◆ その他

関西学生サッカー連盟の主催する行事(観客動員)は必ず出席すること。これは、本学サッカー部に所属する＝出席の義務があるということを理解すること。
また、学内の行事ごとやサッカー部として学園が良くなるために率先して行動を起こせるよう努めること。

協力企業一覧(順不同)

